

# 第1号議案 2018年度事業・活動報告の承認

## 1. 寄付の造成

### 1) 福祉たすけあい基金<生活クラブ組合員寄付>

(1) 年間寄付額は 12,972,400 円となりました。(予算比 99.8%・前年比 99.8%)

(2) 組合員の福祉たすけあい基金寄付参加者データ

2018年4月期首 10,745人

2019年3月期末 10,672人

#### ①生活クラブ福祉たすけあい基金参加者 2018年度推移

		期首	3月末
横浜北	参加人数	2,335	2,260
	参加率	13.7%	13.0%
横浜みなみ	参加人数	2,217	2,222
	参加率	10.7%	10.4%
かわさき	参加人数	1,729	1,693
	参加率	15.0%	14.2%
湘南	参加人数	2,429	2,393
	参加率	13.9%	12.8%
さがみ	参加人数	2,035	2,101
	参加率	20.3%	20.1%
全体	参加人数	10,745	10,672
	参加率	13.9%	13.4%

増減 組合員人数

コモンズ(配送)参加者	7,696	7,711	15	53,173
参加率	15.1%	14.5%		
デポ(店舗)参加者	3,049	2,961	-83	26,637
参加率	11.6%	11.1%		

#### ②組合員寄付(月別実績)

月	金額(円)
4月	1,163,300円
5月	1,077,900円
6月	1,065,400円
7月	1,076,500円
8月	1,061,700円
9月	1,077,300円
10月	1,081,800円

11月	1,069,200円
12月	1,070,800円
1月	1,082,200円
2月	1,065,500円
3月	1,080,800円
合計	12,972,400円

### ③参加拡大に向けた活動

福祉たすけあい基金の取組み拡大に向けて、生活クラブと連携して以下に取組みました。

主体	目的	アクション	対象等
生活クラブ 神奈川	参加拡大	年2回のチラシ配布 財団との共催活動：贈呈式	配送組合員は全員配布、 店舗組合員は店舗置き
財団	参加拡大	年2回福祉たすけあい基金レポート配布	配送組合員は全員配布、 店舗組合員は店舗置き30部 (寄付者には送付時に再配布)
財団	活動報告	1月の領収書発行の際に財団発行の福祉たすけあい基金レポートを封入	福祉たすけあい基金寄付者に 全員配布、 デポー組合員寄付者には郵送
		生活クラブ広報誌「えぼ」記事掲載	組合員全員
共催	活動報告 語り部育成		贈呈式・交流集会 (年2回実施)

## 2) 福祉たすけあい基金<一般寄付>

月	一般寄付者	一般寄付者内容
4月	90,000	年間登録寄付者(17名、12団体)
5月	0	
6月	2,596	ユニット神奈川、ソフトバンクかざして募金(196円)
7月	3,698	助成団体からの寄付(3団体)、ソフトバンクかざして募金(98円)
8月	9,898	助成団体からの寄付(2団体)、協賛団体(1団体)、財団理事(1名) ソフトバンクつながる募金(98円)
9月	6,591	助成団体からの寄付(2団体)、ソフトバンクつながる募金(391円)
10月	1,200	助成団体からの寄付(1団体)
12月	4,800	助成団体からの寄付(2団体)
1月	1,396	助成団体からの寄付(1団体)、ソフトバンクつながる募金(196円)
2月	2,400	助成団体からの寄付(1団体)、一般(1名)

- ① 一般寄付者は、財団の前身である「たすけあい未来ファンド」からの継続寄付者、個人寄付者、助成団体からの寄付(一口1,200円以上で依頼/取組は任意)、フォーラム協賛寄付金で構成されています。
- ② 助成団体に寄付の働きかけを行いました。

<助成団体からの寄付>

- ・ひき桜（第7期、第9期助成団体） 1,200円
- ・親と子の寺子屋 ふれあい自遊塾（第5期、第7期、第9期助成団体） 1,200円
- ・お福わけの会（第9期助成団体） 1,200円
- ・本もく座（第7期、第9期助成団体） 1,200円
- ・キッチン梅ちゃん（第9期助成団体） 1,200円
- ・らぱれっと（第9期助成団体） 5,000円
- ・ぱくぱく食堂（第9期助成団体） 1,200円
- ・青空保育ぺんぺんぐさ（第10期助成団体） 1,200円
- ・茅ヶ崎開智舎（第10期助成団体） 3,600円
- ・南えびなスポーツクラブ（第10期助成団体） 1,200円
- ・つばき学習会（第9期助成団体） 1,200円
- ・相模原誘導グループささの会（第10期助成団体） 1,200円

<協賛団体、寄付団体>

- ・W.Co たすけあいぐっぴい 5,000円

3) 財団運営費への寄付

氏名また法人・団体名	金額	寄付由来
三澤孝道	15,000	財団への寄付
小田鈴子	5,000	財団への寄付
早坂 毅	50,000	財団への寄付
田中夏子	10,000	財団への寄付
企業組合エコアド	10,000	財団への寄付
かながわ教職員組合連合	30,000	財団への寄付
神奈川県労働者福祉協議会	10,000	寄付(フォーラムへの協賛)
早川運輸(株)	10,000	寄付(フォーラムへの協賛)
扶桑電気(株)	10,000	寄付(フォーラムへの協賛)
横浜YMCA	10,000	寄付(フォーラムへの協賛)
神奈川地方自治研究センター	10,000	寄付(フォーラムへの協賛)

4) 賛助会費（2018年度下期より導入）

①個人会員

	寄付由来	口数	金額	人数
1	財団関係者	37	37,000	15人
2	組合員(寄付者)	105	105,000	27人
3	一般	1	1,000	1人
	合計	143	143,000	43人

②法人・団体会員

	団体名	口数	金額
1	(株)オルタフーズ	6	60,000
2	(株)ウエルライフ	3	30,000
3	英君酒造(株)	1	10,000
4	共生食品(株)	2	20,000
5	(株)マルモ青木味噌醤油醸造所	3	30,000
6	(株)秋川牧園	1	10,000
7	オルタスクエア(株)	5	50,000
8	(株)エコグリーン	1	10,000
9	(株)ニッコー	2	20,000
10	(株)カジノヤ	2	20,000
合計		26	260,000

<目標達成率>

<人数、団体数>	目標	実績	達成率
個人会員	100	43	43.0%
法人・団体会員	30	10	33.3%
合計	130	53	40.8%

<金額>	目標	実績	達成率
個人会員	100,000	143,000	143.0%
法人・団体会員	700,000	260,000	37.1%
合計	800,000	403,000	50.4%

## 2. 助成事業（公益目的事業1）

### 1) 2018年度助成実績

エラベル寄付及び合計金額は3月31日現在

	福祉たすけあい 第10期	福祉たすけあいス タート助成 11期	エラベル5期 (3月31日現在)	計
申請団体	19	15	3	37
助成団体	11	14	3	28
助成金額 円	3,560,382	4,440,364	3,209,614	11,210,360

### 2) 2018年度助成活動

#### ① 通常型福祉たすけあい助成（第10期） 400万円助成

- ・19団体から申請があり、11団体に助成を行いました。助成計画額400万円に対して3,560,382円の助成を実施しました。

- ・申請団体は、第9期までと同様に、19団体中6団体が子ども・子育て関連の活動を行っており、続いて障がい児、障がい者支援の活動をする団体が5団体でした。

② スタート助成（11期）

- ・15団体から申請があり、14団体に助成を行いました。助成計画額500万円に対して4,440,364円の助成を実施しました。
- ・助成活動として比較的小さな活動・事業の立ち上げや居場所の立ち上げ支援を念頭に助成を行いました。3か年継続申請が可能なプログラムを組んだ福祉たすけあい基金スタート助成が2018年度の募集で4期目を迎えました。
- ・今期の募集から事前相談を必須事項としました。
- ・申請15団体の活動分類は以下の通りです。（重複あり）  
子ども・若者支援9、障がい児・者支援4、子ども食堂を含む居場所づくり7、高齢者2（居場所）母親支援1

	第1期（通算5期）	第2期（通算7期）	第3期（通算9期）	第4期（通算11期）
助成/申請	10団体申請6団体に助成	15団体申請10団体に助成	24団体申請16団体に助成	15団体申請14団体に助成
1期からの継続	—	5団体に助成	1団体助成	—
2期からの継続	—	—	3団体助成	3団体助成
3期からの継続	—	—	—	4団体助成

③ エラベル助成 第5期

- ・募集期間は2018年12月1日から2019年3月20日までとし、NPO法人川崎市民石けんプラント、NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会、お福わけの会の3団体と共に、寄付集めを行いました。
- ・3月末現在の実績は以下の通りです。

団体名	寄付金額 目標（円）	寄付募集実績 （円）	寄付人数 （団体含む）
NPO法人川崎市民石けんプラント	120万	1,425,239	260
NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会	120万	1,349,042	253
お福わけ会	120万	1,001,734	159
計	360万	3,776,015	672

<参考資料>

- ・第1期～第11期申請団体の推移並びに助成金額

	助成団体数	助成金額	申請数	申請金額（約万円）
第1期	9	4,514,100	34	2400
第2期	12	3,944,950	17	700

第3期	11	3,822,000	34	2400
第4期	13	3,389,131	20	1000
第5期	6	1,667,633	12	390
第6期	7	3,245,769	18	640
第7期	10	2,493,230	16	490
第8期	13	4,000,000	20	1000
第9期	16	4,346,100	24	740
第10期	11	3,560,382	19	859
第11期	14	4,440,364	15	508
合計	122	39,423,659	229	11,127

### 3. 研修・セミナー事業（公益目的事業2）

フォーラム開催は、〈市民と市民活動を結び、社会課題解決を目指す市民活動を応援する〉という財団のミッションが助成活動にとどまらず、市民・地域団体・地域社協等との新たなネットワークをめざす財団としての社会的認知、地域や申請団体・賛同団体の掘り起しにつながっています。

#### (1) 厚木フォーラム（仮称）

- ・ 子ども・若者の孤立と貧困をテーマにした地域フォーラムを厚木市で開催しようと昨年度（2017年）の12月から団体訪問を重ね、準備チーム会議を5月、6月の2回開催しました。（参加団体：厚木YMCA、NPO法人子ども未来じゅく、学童保育なないろのたね、あつぎ無料学習塾ねこの手、地域活動支援センター「アジュール」）
- ・ 7月には、ワンエイドの松本篝さん、石塚恵さんを講師に学習会「フードバンクから見える子どもの貧困、いま必要な事・できること」を開催しましたが、フォーラム開催には至りませんでした。

#### (2) フォーラム「人と人、地域のつながりをつくる～生きづらさも安心して抱えられる地域をめざして～」（横浜北生活クラブ生協との共催）

- ・ 2018年12月1日（土）横浜北生活クラブと新拠点「くらしてらす」を会場に、地域フォーラムを開催しました。横浜市青葉区の市民活動を知り、市民の志ある寄付が市民活動を支援する福祉たすけあい基金への共感を広げ参加者を拡大することを目的に、運営は横浜北生活クラブが行い、財団は共催団体として、企画・実行に当たってのアドバイスおよびフォーラムのコーディネーターを受け持ちました。
- ・ 横浜北生活クラブのひとつの区（青葉区）で活動する団体報告に絞り、地域の自治会、青葉区区民活動支援センター、青葉選出市議の参加も得て地域を巻き込んで開催することができました。（参加者 50名）

#### (3) 市民基金フォーラム「地域のインフラとなる《居場所》」

- ・2019年1月26日（土）市民基金フォーラム地域のインフラとなる《居場所》を開催しました。西国分寺クルミドコーヒー店主の影山知明さんの講演、当財団の福祉たすけあい基金からの助成4団体からの事例報告と影山さんのコーディネートによるディスカッションを行いました。（参加者 79名）
- ・フォーラム開催に向けては、居場所活動を行なっている助成4団体（コミュニティカフェ6丁目クラブ、宮のマエストロ、結の樹よってけし、たんぼぼひろば）と9月より実行委員会を形成し、それぞれの活動を共有し準備を進め、参加者に居場所づくりに向けた力強いメッセージを送ることができました。

#### (4) 基金サロン

- ・2018年4月に当財団理事の三澤孝道さんをスピーカーに「イーハトーブ農場への想い」を開催しました。（参加者 11名）

## 4. 相談・助言事業（公益目的事業3）

### (1) 一般社団法人フードバンクかながわへの参加及び事務局業務の一部受託

- ・フードバンクかながわは12団体が参加して2018年3月に法人を設立し、4月より事業を開始しました。当財団は、一般社団法人フードバンクかながわに参加するとともに、広報業務支援、企画業務支援に関する事務局業務を7月より受託しました。
- ※フードバンクかながわは10月17日に公益認定を受け、公益社団法人フードバンクかながわとなりました。

### (2) 遺贈寄付の取り組みに向けた検討

- ・遺贈寄付への関心が社会的に高まっていることを背景に、資産を市民社会づくりに活かしたいという思いを引き継ぎ、市民の寄付を市民活動へつなげる寄付プログラムの検討を、生活クラブ、福祉クラブ、地球の木、WE21 ジャパンの参加を得て「遺贈等相談窓口具体化検討チーム」を立ち上げて検討しました。
- ・11月理事会において、財団・生協・市民団体の3者による遺贈寄付を広めるプラットフォーム「（仮称）遺贈寄付相談・市民ネット」を立ち上げ、2019年9月を目途に遺贈寄付相談・コーディネート事業を開始することを決定しました。
- ・2019年3月より財団、生活クラブ、福祉クラブ、地球の木、WE21 ジャパン、ワーカーズ・コレクティブ連合会、ワーカーズ・コレクティブ協会、女性・市民コミュニティバンクの8団体で準備会を立ち上げ、9月からの事業開始に向けて具体的な検討を進めています。

## 5. 広報発行事業（公益目的事業4）

### (1) 年次報告書を作成しました。

- ・財団活動をアピールするツールとして年間の活動内容がわかる資料を作成しました。
- ・寄付依頼や賛助会員拡大として活用しました。

### (2) 「福祉たすけあい基金 BOOK Vol. 7」の発行

- ・第9期、10期福祉たすけあい基金の助成団体紹介のためのブックレット「福祉たすけあい基金 BOOK Vol.7」を作成・発行しました。市民基金関係者に配布しました。  
(発行部数 500部)
- (3)「福祉たすけあい基金レポート 2018年夏号・2018年度冬号」の発行
  - ・生活クラブ組合員向けの活動報告書を作成し、コモンズ組合員には全員、デポー組合員にはデポーフロア配架にて配布しました。
  - ・生活クラブユニオン共済たすけあい委員会発行のニュース「福祉たすけあい基金に参加しましょう」と同じ月(配布週は異なる)に組合員に届けたことによって、相乗効果を狙いました。夏号配布時には51名、冬号配布時は53名の新規参加があったように一定の効果があったと総括します。
  - ・2018年度冬号では賛助会員の募集を行いました。冬号については、福祉たすけあい基金参加者への領収書と併せても配布を行ったことで、賛助会員の拡大にもつながりました。
  - ・今年度より、デポーの福祉たすけあい基金参加者へは、領収書と合わせ、夏号も配布しました。
- (4)フォーラム報告書の発行
  - ・1月開催であったため、報告集は2019年度に発行する予定です。
  - ・フォーラムを主催した実行委員会の団体・協賛団体・行政関係者をはじめ、市民基金の関係者・関係団体に配布する予定です。

## 6. その他の活動

- (1) 第2期市民ライター講座
  - ・市民基金のメッセージ力を高め、情報発信活動に参加する市民・組合員をおおぜいにするを目的に「市民ライター講座」を開催しました。
  - ・開催にあたっては生活クラブ共済たすけあい委員会と共催し、講座参加者を公募しました。
  - ・生活クラブの情報誌『生活と自治』編集室長の山田衛氏を講師に迎え、2月～3月に4回の連続講座を開催しました。地域生協からの呼びかけや、生活クラブ機関紙「えぼ」、財団ホームページを通じて9名の組合員・寄付者が参加しました。
  - ・3月30日に修了式を行い、講座修了者を財団の市民ライターとして認定しました。今後は市民ライターによる助成団体への取材・広報活動を進めます。また、2019年度より生活クラブ機関紙「えぼ」に新設された助成団体紹介コーナーへの執筆を担当します。
- (2) ホームページのリニューアルを行いました
  - ・6月からのホームページ管理会社の変更に伴い、ホームページ画面、構成をリニューアルしました。
  - ・また、ワーコレほっとリンクへの更新作業を委託したことにより、タイムリーな情報発信を行うことができるようになりました。



## 7. 財団運営

### 1) 機関会議運営

#### (1) 理事会

- ・定例理事会を5月、8月、9月、11月、1月、3月に、臨時理事会を6月に開催しました。(7月度理事会は台風のため8月11日に延期となりました)
- ・各理事会の主な議決事項は以下の通りです。

	主な議決事項
第1回(5月度理事会) 5月12日開催	① 2018年度定時評議員会議案の決定 ②事業指定助成プログラム『エラベル』2017年度総括及び2018年度活動計画・募集要項の承認 ③選考部会メンバーの承認 ④遺贈・生前寄付検討チームの設置
第1回臨時理事会 6月2日開催	①副理事長の選任 ②荻原妙子さんとの業務委託契約の締結
第2回(7月度理事会) 8月11日開催	①第10期福祉たすけあい基金選考結果の承認 ②2018年度財団主催フォーラム「居場所フォーラム～福祉たすけあい基金助成団体の実践～」の承認 ③賛助会員制度の導入と取組方針 ④2019年度定時評議員会開催日程
第3回(9月度理事会) 9月15日開催	①福祉たすけあい基金第11期(第4期スタート助成)実施計画・申請要項の承認 ②生活クラブ福祉たすけあい委員会との共催による市民ライター講座の承認 ③生活クラブとの共催による第10期福祉たすけあい基金贈呈式・交流会・エラベルキックオフの開催計画の承認 ④「基金レポート2018冬号」の発行計画
第4回(11月度理事会) 11月17日開催	①2018年度上期事業報告・決算の承認並びに下期対策 ②2018年度中間監査報告 ③第4期事業指定プログラム「エラベル」登録団体の選考報告と実施計画予算の承認 ④福祉たすけあい基金取組み組合員への領収書発行等に係る予算の承認 ⑤遺贈等相談窓口具体化検討チーム答申の承認 ⑥休眠預金に関する意見書への賛同
第5回(1月度理事会) 1月19日開催	①2019年度事業計画並びに収支予算第一次討議 ②2018年度第1回臨時評議員会開催要領並びに議案の決定 ③2019年度年間会議日程

第6回(3月度理事会) 3月19日開催	①2018年度臨時評議員会議案の決定 ②特定資産「新助成プログラム開始準備金」の一部を取崩し「研修・セミナー事業積立金」及び「相談・助言事業積立金」に充当する件 ③理事並びに選考委員、選考部会メンバー改選に伴う対応の承認 ④ 第11期福祉たすけあい基金選考結果の承認 ⑤第12期福祉たすけあい基金募集要項ならびにチャートの承認 ⑥福祉たすけあい基金贈呈式の開催方針
------------------------	---

(2) 評議員会の開催

- ・6月2日に定時評議員会を開催し、2017年度事業・活動報告並びに決算書を承認しました。また、今年度は役員、評議員の改選期ではありませんでしたが、役員の補充選出が行われ、理事4名、監事1名、評議員3名が選任されました。
- ・3月23日に臨時評議員会を開催し、2019年度事業・活動方針並びに予算書を承認しました。

(3) 参加状況

・理事会

	5月度	6月度臨時	7月度	9月度	11月度	1月度	3月度
理事	13/22	14/22	14/22	12/22	17/22	19/22	17/22
監事	2/3	2/3	2/3	3/3	2/3	3/3	3/3

・評議員会

	定時評議員会 (6/2)	臨時評議員会 (3/23)
評議員	20/25	17/25

以上

名称	主な活動地域	申請事業	助成内容	助成額(円)
特定非営利法人 GOOD JOB	横浜市港南区	独居高齢の居場所サロンでの作業所づくり	職業用ミシンなどの物品購入費	399,750
特定非営利法人 のびの会	横浜市、全国	パーソナリティ障害を有する本人や家族の支援に関心を持つ人々を対象に ED や BPD をテーマとした講演会の開催	講師謝金	500,000
コミュニティカフェ 6丁目クラブ	鎌倉市 今泉台周辺	のびのび楽しい子どもの居場所プロジェクト	スタッフ・ボランティアの謝金、交通費、事務局費用、家賃の一部	397,000
NPO 法人 宮のマエストロ	横浜市 泉区 中田地域	多世代交流サロン「宮ノ前テラス」の開設	物品購入費、講座開催費用	400,000
青空保育 ぺんぺんぐさ	横浜市 青葉区	子育て講演会と外遊び体験会開催費用	講師謝金、施設使用料、託児費用、物品購入、保険の一部	236,000
ちがさき開智舎	茅ヶ崎市	学習支援事業における物品購入	物品購入費	65,000
相模原誘導グループ ささの会	相模原市	視覚障がい者の誘導入門講座事業	講師謝礼、チラシ、交通費、会場費、障害者用 PC 等借用費用 物品購入費	200,000
よこはま子育て支援 拠点ネットワーク	横浜市 全体	地域社会における子育てアンケートの学習・分析などの調査研究活動	謝金、交通費、報告集作成費用、会場費、保険料	500,000
NPO 法人 フードバンク横浜	横浜市	無料子ども塾	ソフトシステム開発費、パソコン購入費	463,632
特定非営利活動法人 南えびなスポーツ クラブ	海老名市 近辺	障がい者・不登校の子どもを対象としたエンジョイフットサル、エンジョイスポーツ	家賃の一部、物品購入費	159,000
NPO 法人日本補助犬 情報センター	全国	認知度の低い聴導犬を市民に伝えるためのセミナー開催	講師謝金	240,000
合計				3,560,382

### 11 期助成団体報告 (2019/03/9)

名 称	主な活動地域	申請事業	助成内容	助成額(円)
NPO 法人ファミリア	横須賀市	共に生きる地域づくりを目的とした知的障害・発達障害をもつ子どもと家族へのエビデンスに基づく支援 及び人材育成事業	家賃の一部	400,000
ぱくぱく食堂 (申請 2 回目)	綾瀬市	子ども食堂「ぱくぱく食堂の運営	交通費、通信費、会場費、広報費など	150,000
つばき学習会 (申請 2 回目)	川崎市	つばき学習室@幸と地域企画	交通費、消耗品、物品購入(実験器具)、広報など	300,000
ひだまりの家プロジェクト	座間市	家主、座間コモンズ、アクティブ・ママで運営する「ひだまりの家プロジェクト」	エアコン設置費用	395,240
NPO 法人 ワーカーズ・コレクティブ メロディー	川崎市幸区	常設型「多世代の居場所・たまり場 メロディーココ」の運営	家賃の一部、印刷費、広報費	400,000
ら・ぱれっと (申請 2 回目)	茅ヶ崎市	お母さんと赤ちゃん、シニア女性たちの集えるカフェ事業と若者の居場所づくり	家賃の一部、物品購入(食器、網戸、手洗い)、HP 管理費、ミシンカフェ講師代	350,000
ワーカーズ・コレクティブびすけっと (申請 2 回目)	川崎市高津区	小規模保育事業所を目指して開設した認可外保育施設「保育室びすけっと」の運営・自立化プログラム	小規模保育事業所を目指して開設した認可外保育施設「保育室びすけっと」の運営・自立化プログラム	300,000
NPO 法人 結の樹よってけし (申請 2 回目)	清川村	長年住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくり～つながり・つながる・支え合う 小さな村のたすけあい活動～	講師謝金、広報費円、印刷費	382,000
NPO 法人 みんなの居場所よこすか	横須賀市	コミュニティカフェみ～な	物品購入、家賃の一部、通信費、スタッフ交通費、まつり謝金、広報費	399,124
ひきこもり当事者グループ「ひき桜」in 横浜 (申請 3 回目)	横浜市	ピアサポート普及啓発のための学習プログラムの標準化に関する事業	謝金、交通費、印刷製本費、消耗品、通信費	310,000
NPO 法人 さくらの森・親子サポートネット	大和市	子どもも大人もともに育ちあう場「みんなのスペースわにわに」	家賃の一部、遊具などの物品購入の一部	400,000
NPO 法人 いーぶらす (申請 3 回目)	横浜市金沢区	事業拡大のためのキッチンの改修費用	物品購入の一部(業務用スチームオーブン)	400,000
本もく座 (申請 3 回目)	横浜市中区	絵本読み聞かせ養成講座の開催と紙芝居作成	講師謝金(読み聞かせ講座)、チラシ作成費	80,000
NPO 法人 肺がん患者の会 ワンステップ	横浜市保土ヶ谷区	肺がん患者を外部講師として活用するがん教育モデル授業の普及推進活動	交通費、広報費	174000
合計				4,440,364